

製品名: ソマトスタチンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18109**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	17kDa

抗原情報

遺伝子名	SST
別名	SST; Somatostatin; Growth hormone release-inhibiting factor
遺伝子 ID	6750.0
SwissProt ID	P61278
免疫原	抗血清はヒトソマトスタチン由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 10-59

背景

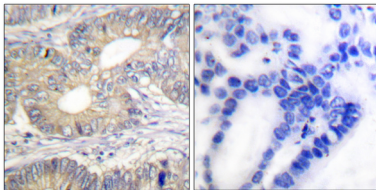
ソマトスタチンというホルモンは、この遺伝子によってコードされる単一のプレプロタンパク質が交互に切断されることによって、14 アミノ酸と 28 アミノ酸からなる活性型を生成します。ソマトスタチンは全身に発現し、高親和性 G タンパク質共役型ソマト

スタチン受容体に結合して、多数の二次ホルモンの放出を阻害します。このホルモンは、下垂体成長ホルモン、甲状腺刺激ホルモン、そしてほとんどの消化管ホルモンとの相互作用を通じて、内分泌系の重要な調節因子です。ソマトスタチンはまた、中枢神経系における神経伝達速度や、正常細胞と腫瘍形成細胞の両方の増殖にも影響を与えます。 [RefSeq 提供、2008年7月]機能: ソマトスタチンは成長ホルモンの放出を阻害します。 ,オンライン情報: ソマトスタチンの項目,医薬品: オクトレオチドまたは SMS 201-995 として知られる合成類似体は、サンドスタチン (ノバルティス) の名称で入手可能です。先端巨大症、カルチノイド腫瘍、血管作動性腸管ペプチド腫瘍の対症療法など、様々な疾患の治療に用いられます。 ,類似性: ソマトスタチンファミリーに属します。 ,

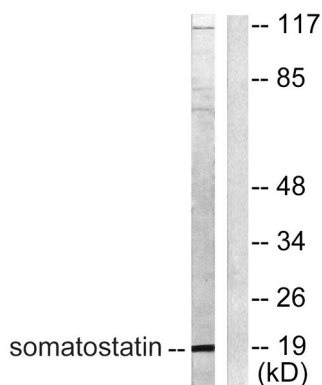
研究分野

神経伝達物質、神経ペプチド、ホルモン、神経科学、神経プロセス、神経内分泌学、成長ホルモン調節、幹細胞、系統マーカー、発生生物学、系統の特定、内胚葉

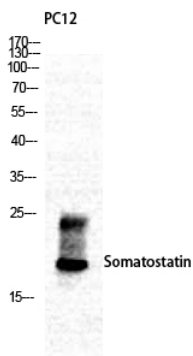
画像データ



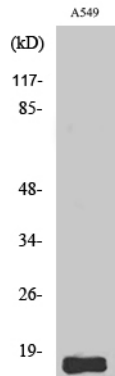
ソマトスタチン抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



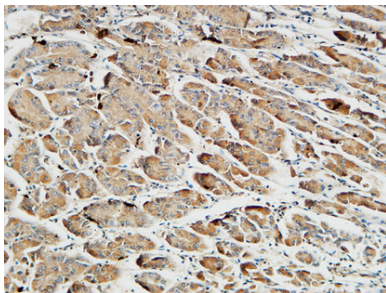
ソマトスタチン抗体を用いた A549 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



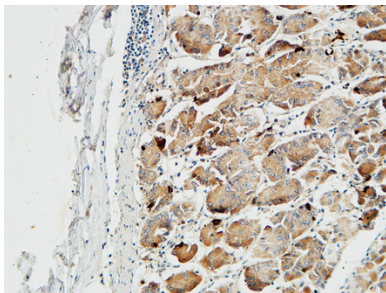
ソマトスタチンポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



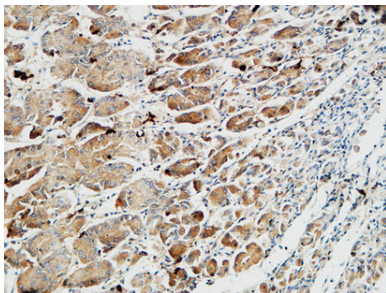
ソマトスタチンポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト胃底の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト胃底の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト胃底の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。